

骨髄バンク10周年記念事業 原宿ファッションジョイボード掲出について

財団法人 骨髄移植推進財団（日本骨髄バンク）は、白血病や重症再生不良性貧血等の難病に対する有効な治療法である骨髄移植を推進するため、1991年12月18日、厚生省（現厚生労働省）主導のもとに設立され、骨髄提供希望者（ドナー）の募集及び骨髄移植に至るまでのコーディネートを行う「公的骨髄バンク事業」を実施しております。骨髄移植を行うためには、患者さんと提供者の骨髄の型が一致する必要がありますが、この一致する確率は血縁者（兄弟姉妹）で4分の1、非血縁者間では数百人から数万人に1人に過ぎず、骨髄移植を受けられない患者さんが少なくありません。こうした患者さんを人々の善意で救うシステムが骨髄バンクです。

当財団は本年設立10周年を迎えますが、この間に3621例（本年9月末現在）の非血縁者間骨髄移植を実施しております。全ての患者さんにドナーが見つかるためには、30万人のドナー登録者が必要と試算されていますが、現在までの登録者は14万人とまだまだ少なく、ドナーを待ちわびながら亡くなる患者さんも絶えない現実があります。

この度、10周年記念事業の一環として、10月3日（水）～9日（火）の7日間、原宿駅前のファッションジョイボードに「骨髄バンクのドナー登録」を呼びかける一連の大型ポスターを出展いたします。これは、JR原宿駅の線路脇に設置されている大型ボード（3m×4m×16面）のホーム側を利用したもので、財団法人日本交通文化協会、東日本旅客鉄道株式会社との共催で実施が実現いたしました。

本企画がJR利用の乗降客をはじめ多くの方々の目に触れ、骨髄バンクのドナー登録推進につながりますよう、報道機関の皆様のご協力をお願い申し上げます。

なお、構成素材となりました著名人の皆様には、全てボランティアとしてご参加いただいております。

掲出期間：2001年10月3日（水）～10月9日（火）

場 所：原宿駅ホーム側・期間終了後半年間道路側にて引き続き実施

テーマ：「骨髄ドナー登録にあなたの力を貸してください」

素 材：アンディ・フグ、夏目雅子、ホセ・カレーラス、長嶋茂雄&メリル・ストリープ、ゲリー・リネカー、ボビー・チャールトン、大泉逸郎、加勢大周、ケント・デリカット、東ちづる、山下泰裕、深尾真美、ディック・ブルーナー、日比野克彦、その他

共 催：（財）骨髄移植推進財団、（財）日本交通文化協会、東日本旅客鉄道株式会社

協 力：株式会社ジェイアール東日本企画、株式会社NK B

後 援：朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社

特別協力：住友スリーエム（株）

原宿駅構内における取材に関する注意点

- (1) 撮影日時：10月3日(水)午前10時～正午
- (2) 事前に駅長室に許可をとること
- (3) 御社指定の腕章を必ず着用すること

問合せ先：

(財) 骨髄移植推進財団 山崎・千葉 電話：03-3355-5043 Fax：03-3355-5090

(財) 日本交通文化協会 事業部 鈴木 電話：03-3215-0731(内)242 Fax：03-3212-4783